

## 私の留学生活と就職体験談

卒業生氏名： マーラータン

卒業年度：2025 年 3 月

卒業学科： 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科

私は日本に留学し、中部学院大学短期大学部で介護について学んでいます。初めての海外生活は不安もありましたが、たくさんの経験を通じて、介護の技術だけでなく、人として大切なことも学ぶことができました。

日本の介護では、利用者の気持ちを大切にすることがとても重視されています。授業や実習を通じて、ただ技術を身につけるだけでなく、利用者に寄り添い、思いやりを持って接することの大切さを実感しました。特に、利用者が笑顔になったときは大きな喜びを感じ、「もっと頑張りたい」と思えるようになりました。

大学生活で印象に残っているのは、先生や友人たちとの交流です。先生方はとても親切で、わからないことがあれば丁寧に教えてくれました。友人たちも支え合いながら学ぶ大切な仲間です。互いに励まし合った経験は、今でも心の支えになっています。しかし、反省することもあります。特に日本語の勉強です。介護の授業では専門的な言葉が多く、最初は理解するのが難しかったです。もっと早い段階から日本人の友達と話す練習をしていれば、授業もスムーズに理解できたと思います。

また、デイケア施設でのアルバイトも貴重な経験でした。最初は緊張しましたが、利用者と一緒に笑顔で話せるようになり、「ありがとう」と言われたときの嬉しさは忘れられません。この経験を通じて、介護の仕事のやりがいを感じました。

さらに、私は奨学生として経済的な支援を受けました。この支援のおかげで、勉強に集中できただけでなく、いろいろなことに挑戦する気持ちの余裕も生まれました。本当に感謝しています。中部学院大学短期大学部での生活は、私にとって大きな成長の時間でした。困難もありましたが、それを乗り越えることで自信ができました。これから留学する皆さんも、勇気を持って挑戦してください。素晴らしい経験が待っています。心から応援しています。